

第 58 回全国漆器展

～ 審 査 講 評 ～

開催日時： 令和 5 年 9 月 14 日（木） 15：00～18：15
（審査会）

会 場： 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 大会議室
〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22-2F

出品産地：	津 軽 塗（青 森 県）	川連漆器（秋 田 県）
(12 産地)	会 津 塗（福 島 県）	江戸漆器（東 京 都）
	木曾漆器（長 野 県）	高岡漆器（富 山 県）
	輪 島 塗（石 川 県）	山中漆器（石 川 県）
	金沢漆器（石 川 県）	越前漆器（福 井 県）
	紀州漆器（和歌山県）	香川漆器（香 川 県）

賞の種別：

●団体賞： 桂宮賞、内閣総理大臣賞、日本経済新聞社賞

●個人賞： -産業工芸品部門-

経済産業大臣賞

経済産業省製造産業局長賞

日本経済新聞社賞

家庭画報賞

(公財)日本デザイン振興会賞

(一財)生活用品振興センター理事長賞

(特非)食空間コーディネート協会賞

日本漆器協同組合連合会理事長賞

審査員特別賞

奨励賞

-美術工芸品部門-

農林水産大臣賞

林野庁長官賞

(株)商工組合中央金庫社長賞

家庭画報賞

(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞

(一社)日本百貨店協会会長賞

全国漆業連合会会長賞

(一社)日本漆工協会理事長賞

審査員特別賞

奨励賞

-特別テーマ（めしまり）部門-

日本漆器協同組合連合会理事長賞



§ 目次 §

§ 目次	1
§ 審査総評	2
§ 審査講評	
-美術工芸品部門-	
農林水産大臣賞、林野庁長官賞	4
(株)商工組合中央金庫社長賞、家庭画報賞	4
(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞、(一社)日本百貨店協会会長賞	5
(一社)日本漆工協会理事長賞、全国漆業連合会会長賞	5
審査員特別賞、奨励賞	6
-産業工芸品部門-	
経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞	8
日本経済新聞社賞、家庭画報賞	8
(公財)日本デザイン振興会賞、(一財)生活用品振興センター理事長賞	9
(特非)食空間コーディネーター協会賞、日本漆器協同組合連合会理事長賞	9
審査員特別賞、奨励賞	10
-特別テーマ部門-	
日本漆器協同組合連合会理事長賞	12
§ 審査関係	13
審査員	14
審査方法と結果	14
§ 参考資料	19
歴代大賞受賞一覧 (個人賞)	20
歴代受賞一覧 (団体賞)	24

§ 審 査 総 評 §

五十八回を数える本展覧会には、今までをはるかに超える点数が出品された。近年の人々がこもった時期が開けて、何かに挑戦をしたいという現れなのかもしれない。またこもっていた時期に挑戦してきた新しい技法、表情の研究を発表できる時が来たのである。その意味で三部門共意欲的な作品に溢れていた。

一次審査の投票では審査員一同会話を交わすことは禁じられ、黙々と自分の心に訴えてくる作品を選び、審査票に番号を書いていく。それを集計して点数の高いものから賞を決めていくのであるが、ここで初めてお互いに話し合いをしながら、最終的な決定をする。

それぞれの部門とも賞候補が多く、審査員は選ぶのに大変な苦勞をして最終決定となった。制作する作者の漆への愛が強く感じられ、漆器業界の未来に新しい風が巻き起ころうとしていることを感じた本年の展覧会は、歴史の転換点になるのかもしれない。

日本の漆器業界が作り上げる未来の日本の姿、この予兆を本展覧会が扉を開けて見せてくれたのである。



第 58 回全国漆器展
審査員長 三田村有純 記

美術工芸品部門
受賞作品



農林水産大臣賞

[漆皮 朱塗縁金線梅紋様皿 朱塗縁金線梅型小皿 5 枚組]
木曾漆器工業協同組合（木曾漆器）

漆皮（しっぴ）とは、皮を胎にし、漆を塗ったものを言う。本作品は皮の柔らかな曲線を花に見立て、表面は石目（細かな凹凸）を付けて艶消しに仕上げている。よく見ると大きな皿の中央には薄っすらとレリーフ表現で梅の実、また縁には金を施し、センスの良さを感じる。全審査員の心を掴んだ作品である。



林野庁長官賞

[乾漆 鮫皮塗コンポート]
有限会社橘漆工芸（江戸漆器）

乾漆とは、材料に漆と麻布と土を用いる。利点は、自由に造形ができ軽量に仕上げられる。また湿度変化での変形や割れなどがない点が挙げられる。しかし、制作には大変時間がかかる技法である。本作品は鮫皮を器物中央に大胆に貼りインパクトのある仕上がりになっており、独特の雰囲気を持った作品で力作である。



株式会社商工組合中央金庫社長賞

[ジュエリーボックス 朱 青]
中門漆器店（輪島塗）

審査会場の中で鞠のような球体は他になく、目立っていた。形状に合わせて芍薬の花が蒔絵で描かれ、蕊には玉虫の花を用いている。花びらの表現を面と線にする所に作者の描写力、構成力のセンスを感じ、高く評価できる。蓋の開閉のしやすさやジュエリーの収納箇所に気が利いていれば、尚良かった。



家庭画報賞

[市松長重]
坂本 彰彦（津軽塗）

長手のお重に、市松の朱と黒の柄が心地よく配され完成度が高い。津軽の代表的な変わり塗りの「唐塗り」「紋紗塗り」を用い四角の箱に対しシンプルにまとめ上げている。箱の内側の塗り立て技術も申し分ない優作である。家族や友人の楽しい食事に、この器で料理が美味しく見える事でしょう！！



一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞

[小筆筥 祇園蒔絵]

梶原漆器店（輪島塗）

蒔絵は漆で絵を描き、金属粉を蒔き付け固着させ絵を描く日本を代表する漆の技法。蒔絵技法は大きく3つあり、研ぎ出し蒔絵、平蒔絵、高蒔絵と分けられる。本作品はその3つの蒔絵を駆使し金粉を贅沢に使い、祇園祭を表現。本作の技量は素晴らしく、重量感のある作品で評価を得た。



一般社団法人日本百貨店協会会長賞

[尺 溜丸盆 梅輪]

山本 勝（越前漆器）

「溜」は「溜め塗り」とも言い、朱漆の上に透き漆を塗り、漆の深い飴色の美しさを表現した技法。本作品は、その塗膜の艶にお盆の縁に描いた模様が映る事をコンセプトにしている。繊細な沈金の線が心地よく、溜め塗りに映り込む様子は品が良い。審査員から「これは欲しい」との声。



全国漆業連合会会長賞

[一閑張り 茶器]

小坂 進（木曾漆器）

和紙を漆で張り重ねたものは「紙胎」と呼び、「一閑張り」とは糊を使って和紙を貼ったものを指す。本作品は、茶器の形状から円筒の寸切型「中次」を、作者のオリジナルの形態に変形しており、とても面白く評価を集めた。閉めた時の合口の仕事の丁寧さは作者の力量を感じる。



一般社団法人日本漆工協会理事長賞

[/SLASH/紗蒔盛木]

須藤 賢一（津軽塗）

今回、審査員の意見が多く出された作品。正直なところ審査会場では目立たなく票を集める事ができなかった。作者のアイデア、センス、技術力はピカイチなのだが。。よく見ると紋紗塗りを応用し、木目と合わせるなど面白いことをしているが、来年、どんな作品を作るのか、とっても楽しみである。



審査員特別賞

[高麗卓 麻布張]

武安 隆司（越前漆器）

漆芸で用いる布は綿ではなく、麻を使う。理由は繊維の奥まで漆が含浸せず、適度に柔軟性が保たれるので裂ける事がなく強度が上がる。本作品は茶の湯で用いる棚を布目塗りで小気味よく仕上げた。麻糸の紡いだ不均等さが逆に作品の魅力に繋がっている。素朴ではあるが作者の拘りと丁寧さが伝わり票を集めた。



奨励賞

[煌めき おもてなし揃]

金沢漆器商工業協同組合（金沢漆器）

タイトルの「煌めき おもてなし揃」の通り、キラキラとしていて、いつもと違う食空間を演出できると感じる作品。誰が袖盆の袖の部分に螺鈿の煌めきを生かした蒔絵を施し、それぞれの器の個性を出している。欲を言えば、盆と器の繊細さに対して、お箸の螺鈿の貼り方が大胆で少し違和感を感じたのが残念である。



奨励賞

[果物鉢 溜塗 南蛮葡萄蒔絵]

輪島屋善仁（輪島塗）

洋風の果物鉢、蒔絵と絵梨地で仕上げられ、視覚的効果の高い高台寺蒔絵を感じさせる作品。作者は16世紀の輸出漆器を意識しているのであろうか。蒔絵や塗りの高い技術力で票を集めた。



奨励賞

[木の葉型乾漆盛皿]

堀 由一（越前漆器）

乾漆とは、材料に漆と麻布と土を用いる。利点は、自由に造形ができ軽量に仕上げられる。また湿度変化での変形や割れなどが無い点が挙げられる。しかし、制作には大変時間がかかる技法である。本作品は大らかな葉の造形で丈夫で使い勝手は良さそうであるが、葉脈の線の描き方に拘りがあればもっと票を集められたと感じる。

産業工芸品部門
受賞作品



経済産業大臣賞

[香川漆器 漆下駄「Siccok」]

一和堂工芸株式会社（香川漆器）

香川県志度の桐下駄産業とのコラボ作品。女性用、男性用とも変わり塗りを応用した仕上げで、実に美しく仕上がっている。審査員皆が履いてみたいという言葉が湧き上がった作品である。下駄に漆塗りは各産地でも製造しているが鼻緒の質、色彩との対比が印象的である。



経済産業省 製造産業局長賞

[ロックカップ ななこ塗 ライン]

有限会社イシオカ工芸（津軽塗）

口作りの薄さに対して下部の絞り込んだ造形と厚みの対比が持ち上げた時に実によく計算されている。木地造形は実に巧みである。内側の白漆も、中に入れるものを引き立たせる計算がされ、外側に菜々子の模様をラインで配するデザインセンスが群を抜いている。



日本経済新聞社賞

[万華鏡 入子重]

松原 紗霧（越前漆器）

二段重であるが収納時には一段となり、使い勝手が良い。重箱の造形が六角形であり、下の方が小さくなるバランスが美しい。蓋面と側面の6面のうち、3面に精緻な模様を沈金で入れている。二段を重ねるときに模様のある面を互い違いにできるなど使う人が楽しめる構造である。



家庭画報賞

[笹の葉 銘々皿]

岩上 平蔵（越前漆器）

28、5センチと長尺のお盆であるが、両端が細く収束するようになった笹型の造形が印象的である。個人が一枚ずつ使えるだけでなく、真ん中に5弁の花びらが集まるように置き、皆で使っても良いなど、使う人がさまざまなシーンで使えることが高く評価された作品である。



公益財団法人日本デザイン振興会賞

[両面盆]

利山 (川連漆器)

両面が使えるお盆はこれまでもたくさん作られているが、ろくろ造形の軸をずらすことによって、裏表に三日月状の凸面を作り出している。その上に巧みな花塗りで色漆の塗り込みを行っている。裏表どちらも盛り付けが生きるバランスで構成された楽しい作品である。



一般財団法人生活用品振興センター理事長賞

[陶漆 小判皿 溜 白檀塗]

株式会社土直漆器 (越前漆器)

飛びガンナで模様をつけた陶器に漆を塗りこんでいく。下に塗った明るい白漆が、今はほとんど見えないが、使われながら高いところがすり減り、下の色が出てくることで、作品の質が高まっていく。漆器の良さである、時間の経過と共に美を増していく作品である。



NPO 法人食空間コーディネート協会賞

[丸皿 (三日月型) 象谷塗面 5 色]

漆器山富 (香川漆器)

象谷塗りで仕上げられた黒の面と縁に三ヶ月型に残された面を青、白、黄、紫、赤の5色の色漆で表現された5枚組の器のバランスは実に愛らしい。15センチの大きさで、使い勝手が良く、食卓のあらゆるシーンで上に乗るものを引き立たせる漆器である。



日本漆器協同組合連合会理事長賞

[大飯椀ペア 「春秋」「雪月花」]

駒本 長信 (越前漆器)

大振りのお椀二組の外側の杳目を生かすように何層もスリ漆を重ねて、柔らかさを演出する。内側は本堅地にて塗り上げた上に桜と紅葉で春秋を、雪の結晶、月の形象、花の模様を蒔絵で描く。その上に透明な漆を塗る。研ぎ出しではないためにほのかに見える蒔絵が格式が高い。



審査員特別賞

[厚皿]

藤島 いっかん (高岡漆器)

櫟材を大胆に造形して一部には麻布を貼り重ねて、透明な漆を何層にも塗り重ねていく。手削りする技が洒脱である。高台が高いために食卓の中心に置かれても、盛り付けたものが皆輝いて見える。木と対話しながら見つけ出した造形は実に説得力がある。



奨励賞

[タンブラー脱乾漆 根来]

津田漆器店 (輪島塗)

麻布を漆で貼り重ねた乾漆造形で、側面のおおらかで凹凸のある表情は持ちやすく、握りやすい。内側の黒漆に対して、外側は黒漆の上に朱漆を塗って、研ぎ出す根来塗りで、そこにすり漆を重ねて仕上げられている。思わず手に取って使ってみたい優作である。



奨励賞

[STONE Saile 2 枚組]

株式会社山加荻村漆器店 (木曽漆器)

片側が反り上がったことで持ち上げやすい造形は見た目も面白い。二つの丸い窪みは使い勝手を想像させ、使う人の想像力を引き立てる作品である。和紙を貼ってから漆を塗り、そこに全面に錫粉を蒔く。漆で固めてからわずかに研ぎ出すことで一見金属にも、石の肌のようにも見える。



奨励賞

[トレー]

天野漆器株式会社 (高岡漆器)

円形のトレーの上に施された繊細な模様が実に美しい。それぞれ違う模様と色彩が細い線で表現されている。レーザー彫刻を施したことで、今までの手の技術では完成しない作品である。伝統的な日本の模様であり、形と色彩と模様がバランスよく、応用範囲の広い作品である。

特 別 テ ー マ 部 門
受 賞 作 品



日本漆器協同組合連合会理事長賞
[和塗木地呂飯椀・箸・箸置き・汁椀]
有限会社伊藤寛司商店（木曽漆器）

地元で漆を育て、採取し、黒めた漆を丹念に塗り上げている。しっとりとした表情は、思わず手に取り、使ってみてほしい思いになる。伝統的な形の上に確かな作者の技術が相まった秀作である。



日本漆器協同組合連合会理事長賞
[夫婦椀 魯山人型]
梶原漆器店（輪島塗）

魯山人の器の形を模して作り上げた蓋付きのお椀は、佇まいを含めて存在感がある。朱漆と黒漆の塗りも丁寧であり、身と蓋に施された沈金技法による丸紋の中の波模様は格調高い仕上げである。



日本漆器協同組合連合会理事長賞
[福寿椀 パールロゼ]
中門漆器店（輪島塗）

何段階もの色彩を感じるグラデーション、暈し塗りの技術は見事である。パール色の表情は近年開発された漆であり、伝統的なお椀の造形であるが和でも洋でも使える表現は、使う人に夢を与える作品である。

§ 審 査 関 係 §

【審査員】

審査員長	東京藝術大学 名誉教授 三田村有純	
部門	産業工芸品	美術工芸品
審査 部門長	(兼) 東京藝術大学 名誉教授 三田村有純	東京藝術大学工芸科 准教授 青木 宏憧
審査員	経済産業省 製造産業局 生活製品課 企画官 塚本 裕之	林野庁 林政部 経営課 特用林産対策室長 塚田 直子
	江上料理学院 院長 江上 栄子	公益社団法人全国調理師養成施設協会 会長 服部 幸應
	株式会社世界文化社 副編集長 松本 詩郎	株式会社世界文化社 執行役員 今井 朗子
	NPO 法人食空間コーディネート協会 副理事長 最所 養子	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 代表理事 原田 元
	東京都漆器商工業協同組合 理事長 西山 喜一郎	東京藝術大学社会連携センター 特任准教授 今井 美幸
	日本漆器協同組合連合会 理事長 土田 直	—

(敬称略・順不同)

【審査方法と結果】

各産地の予備審査を経て出品された「美術工芸品部門 48」、「産業工芸品部門 54 作品」、「特別テーマ部門（めしまり）26 作品」を対象として、審査員は各部門の評価ポイントなどを勘案し、以下の手順で審査を実施した。

審査 部門	出品 内容	出品 条件	審査員	主な評価ポイント				
				市場性	提案性	デザイン性	独自性	技術力
				価格設定、消費者ニーズなど	ターゲットの分かり易さなど	機能性、収納性、美しさなど	独創性、ユニークさなど	卓越した技術、伝統的な技法など
美術 工芸品	漆 器	新作 少量品	専 任	△	△	○	○	○
産 業 工芸品	漆器 合成漆器	新作 量産品	専 任	○	○	○	△	△
特別テーマ部門	漆 器 合成漆器	過去に受賞歴がないもの	両部門 の審査員	△	産業	共通	美術	△

1. 担当部門の 10 作品（特別テーマ部門は 5 作品）を選出。
2. 選出した 10 作品から自身の BEST5 作品（特別テーマ部門は 1 作品）を選出したうえで投票。
3. 投票を集計し、総得票数の上位 16 作品（特別テーマ部門は 6 作品）程度を最終候補作品として、以下の手順で個人賞を決定。

～個人賞の決定手順～

【美術・産業工芸品部門】

美術工芸品部門	分類	産業工芸品部門
農林水産大臣賞 林野庁長官賞	①官公庁	経済産業大臣賞 経済産業省製造産業局長賞
(株)商工組合中央金庫社長賞 家庭画報賞	②メディア・公共機関	日本経済新聞社賞 家庭画報賞
(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞 (一社)日本百貨店協会会長賞 全国漆業連合会会長賞 (一社)日本漆工協会理事長賞	③業界団体	(公財)日本デザイン振興会賞 (一財)生活用品振興センター理事長賞 (特非)食空間コーディネート協会賞 日本漆器協同組合連合会理事長賞
審査員特別賞 奨励賞	④審査会	審査員特別賞 奨励賞

1. 分類①の官公庁賞は、得票数上位 2 作品より各賞を決定した。
2. 分類②のメディア・公共機関賞、分類③の業界団体賞は、得票数上位の残りの作品を対象に、各団体の活動内容や特徴などを考慮して作品とのマッチングを行い、各賞を決定した。
3. 分類④の審査会賞は、
 - ・美術工芸品部門：得票数 16 番目程度までの残りの作品を対象に、産地や入賞作品のバランスなどを協議したうえで、審査員特別賞 1 点、奨励賞 3 点を決定した。
 - ・産業工芸品部門：奨励賞決定においては、得票数 10～20 番目の 11 作品を対象に決選投票を実施し、上位 3 点を奨励賞 3 点に決定した。

【特別テーマ部門】

1. 特別テーマ部門においては、得票数上位 3 作品で賞を決定した。
2. 今年度は団体賞への受賞加点は実施しないこととした。

-美術工芸品部門(得票上位 19 作品)-

賞 名	品 名	出品者	産地
農林水産大臣賞	漆皮 朱塗縁金線櫛紋様皿 朱塗 縁金線梅型小皿 5 枚組	木曾漆器工業協同組合	木曾
林野庁長官賞	乾漆 鮫皮塗コンポート	(有)橘漆工芸	江戸
(株)商工組合中央金庫社長賞	ジュエリーボックス 朱 青	中門漆器店	輪島

賞 名	品 名	出品者	産地
家庭画報賞	市松長重	坂本彰彦	津軽
(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞	小筆筥 祇園祭蒔絵	梶原漆器店	輪島
(一社)日本百貨店協会会長賞	尺 溜丸盆 梅輪	山本 勝	越前
全国漆業連合会会長賞	一閑張り 茶器	小坂 進	木曽
(一社)日本漆工協会理事長賞	/SLASH/紗蒔盛木	須藤賢一	津軽
審査員特別賞	高麗卓 麻布張	武安隆司	越前
奨励賞	煌めき おもてなし揃	金沢漆器商工業協同組合	金沢
奨励賞	果物鉢 溜塗 南蛮葡萄蒔絵	輪島屋善仁	輪島
奨励賞	木の葉型乾漆盛皿	堀 由一	越前
－	とんぼとカタバミ蒔絵合子	(株)うるしアートはりや	山中
－	重箱三段変り塗	工藤健蔵	津軽
－	風車文紋紗塗卓上膳	今 年人	津軽
－	飾り盆（凍華心）	加藤尚人	川連
－	大盤「夏の夢宵」	(有)竹むら漆器店	江戸
－	螺鈿香合 ダークマター	武蔵川剛嗣	高岡
－	漆塗菓子楊枝	助田幹夫	越前

-産業工芸品部門(得票上位 20 作品)-

賞名	品名	出品者	産地
経済産業大臣賞	香川漆器 漆下駄「Siccok」	一和堂工芸(株)	香川
経済産業省製造産業局長賞	ロックカップ ななこ塗 ライン	イシオカ工芸	津軽
日本経済新聞社賞	万華鏡 入子重	松原紗霧	越前
家庭画報賞	笹ノ葉 銘々皿	岩上平蔵	越前
(公財)日本デザイン振興会賞	両面盆	利山	川連
(一財)生活用品振興センター理事長賞	陶漆 小判皿 溜 白檀塗	(株)土直漆器	越前
(特非)食空間コーディネート協会賞	丸皿(三日月型) 象谷塗面 5 色	漆器山富	香川
日本漆器協同組合連合会理事長賞	大飯椀ペア 「春秋」「雪月花」	駒本長信	越前
審査員特別賞	厚皿	藤島いっかん	高岡
奨励賞	タンブラー脱乾漆 根来	津田漆器店	輪島
奨励賞	STONE Saile 2 枚組	(株)山加荻村漆器店	木曽
奨励賞	トレー	天野漆器(株)	高岡

賞名	品名	出品者	産地
—	ステンレスタンブラー 淡彩	三崎慶昭	越前
—	大酒呑み 割れ白檀塗り	小林広幸	木曽
—	両面ランチョンマット 紗張 緑： 白檀／黒：白檀／赤：白檀	氏家漆器(株)	高岡
—	金箔グラス 貝入 各種	天野真一	高岡
—	ペーパーウエイト・ナイフ	(有)武蔵川工房	高岡
—	yuwaragi かぐや 白叢雲塗/朱叢雲塗	(有)浅田漆器工芸	山中
—	おちょこ	清水正義	越前
—	丼飯椀 梅	薮下小春	越前

-特別テーマ部門(得票上位 10 作品)-

賞名	品名	出品者	産地
日本漆器協同組合連合会理事長賞	和塗木地呂飯椀・箸・箸置き・汁椀	(有)伊藤寛司商店	木曽
日本漆器協同組合連合会理事長賞	夫婦椀 魯山人型	梶原漆器店	輪島
日本漆器協同組合連合会理事長賞	福寿椀 パールロゼ	中門漆器店	輪島
—	器 花火	小林漆器(株)	津軽
—	6 寸ボール (白・紺)	(株)土直漆器	越前
—	唐塗飯椀	今 年人	津軽
—	くるむ 飯椀 (白・紺) ペア	(株)土直漆器	越前
—	枡椀(抹茶椀型)	漆器山富	香川
—	黒入子椀セット 吉野春秋	高瀬 淳(白木屋漆器店)	会津
—	たまごかけごはんの飯椀	(株)龍門堂	木曽

～団体賞の決定手順～

1. 個人得点を産地組合毎に集計した合計に、個人賞毎に設定された受賞加点を加算した総得点の上位より各賞を決定した。なお、10 作品を超える出品のある産地組合については、得票上位 10 作品までを集計の対象とした。

-団体賞(3 賞)-

第 1 位[桂宮賞]	第 2 位[内閣総理大臣賞]	第 3 位[日本経済新聞社賞]
越前漆器協同組合	青森県漆器協同組合連合会	木曽漆器工業協同組合

産地組合別ポイント集計表

産地組合名	美術工芸品部門				産業工芸品部門				P 合 計	受賞 加 点	総 得 点
	出 品 数	選 定 P	BEST 5P	小 計	出 品 数	選 定 P	BEST 5P	小 計			
越前漆器協同組合※	10	80	15	95	10	190	45	235	330	135	465
青森県漆器協同組合連合会	7	120	25	145	2	40	10	50	195	80	275
木曽漆器工業協同組合	5	90	30	120	5	50	15	65	185	65	250
輪島漆器商工業協同組合	7	90	30	120	4	40	10	50	170	60	230
伝統工芸高岡漆器協同組合※	7	30	5	35	15	130	45	175	210	15	225
香川県漆器工業協同組合	5	20	10	30	4	90	25	115	145	60	205
東京都漆器商工業協同組合	2	60	15	75	1	10	5	15	90	30	120
秋田県漆器工業協同組合	1	20	0	20	6	40	10	50	70	20	90
山中漆器連合協同組合	3	20	5	25	6	30	5	35	60	0	60
金沢漆器商工業協同組合	1	20	10	30	0	0	0	0	30	5	35
紀州漆器協同組合	0	0	0	0	1	10	0	10	10	0	10
会津漆器協同組合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※得票上位 11 作品目以降で集計外となったポイントがある産地組合

以上

§ 参 考 資 料 §
(歴代受賞一覧)

個人賞大賞 歴代受賞一覧

-経済産業大臣賞(34 回までは通商産業大臣賞)-

年度（回）	品 名	生産者	産地組合
昭和 42 年度(1 回)	机三点セット	須藤 八十八	青森県漆器連合会
昭和 43 年度(2 回)	キンマ線模様棚	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
昭和 44 年度(3 回)	六角重箱	山本 英明	越前漆器協同組合
昭和 45 年度(4 回)	杉盆	佐藤喜久治	秋田県漆器工業協同組合
昭和 46 年度(5 回)	飾棚キンマ	香川漆器組合	香川県漆器工業協同組合
昭和 47 年度(6 回)	角丸盛器	向 栄蔵	神奈川県漆器連合会
昭和 48 年度(7 回)	40cm 鐔型研出絵会席膳	(株)丸産	富山県漆器商工業協同組合
昭和 49 年度(8 回)	手提重	須藤 哲朗	青森県漆器協同組合連合会
昭和 50 年度(9 回)	木曾檜割子弁当セット角	城取 邦雄	長野県木曾漆器工業協同組合
昭和 51 年度(10 回)	文机セット	神田 尚彦	青森県漆器協同組合連合会
昭和 52 年度(11 回)	飾棚 妙高ケヤキ	香川漆器組合	香川県漆器工業協同組合
昭和 53 年度(12 回)	八角三段重取皿長型盆	駒井留次郎	富山県漆器商工業協同組合
昭和 54 年度(13 回)	ドレッサ	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
昭和 55 年度(14 回)	炬燵盆	加藤 芳郎	富山県漆器商工業協同組合
昭和 56 年度(15 回)	胴張盆付茶椀	関 盛夫	会津漆器協同組合連合会
昭和 57 年度(16 回)	乾漆輪花盆	助田 敏一	越前漆器協同組合
昭和 58 年度(17 回)	八角茶櫃線入セット	駒井 一夫	伝統工芸高岡漆器協同組合
昭和 59 年度(18 回)	飾棚	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
昭和 60 年度(19 回)	デスクウェア波模様彫りセット	般若 剛	伝統工芸高岡漆器協同組合
昭和 61 年度(20 回)	菓子鉢 7 寸変り筋	三木再城商店	山中漆器連合協同組合
昭和 62 年度(21 回)	妹乾漆座卓蓋線入	(有)かく丸漆器問屋	木曾漆器工業協同組合
昭和 63 年度(22 回)	金箔卓	中沢 義孝	東京都漆器商工業協同組合
平成元年度(23 回)	座敷机銀河	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 2 年度(24 回)	妹・溜おもてなしセット	金川 明	会津漆器協同組合連合会
平成 3 年度(25 回)	チェスト	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 4 年度(26 回)	金環触の宴	松田 真扶	越前漆器協同組合
平成 5 年度(27 回)	チェスト彩香 20 サイズ ウルミ漆塗 彩色塗分け	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 6 年度(28 回)	キャビネット 紫舟 30	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 7 年度(29 回)	線彫 白檀塗 大鉢	亀田 泉	山中漆器連合協同組合
平成 8 年度(30 回)	飾棚(清楽)	(株)モリシゲ	香川県漆器工業協同組合
平成 9 年度(31 回)	サイドボード”春光”	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 10 年度(32 回)	チェスト グレー塗分線キンマ	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 11 年度(33 回)	お好み重	佐藤伊右衛門商店	秋田県漆器工業協同組合

年度（回）	品 名	生産者	産地組合
平成 12 年度(34 回)	KASANE パーティートレイ ミレニウム	手塚 英明	木曽漆器工業協同組合
平成 13 年度(35 回)	ローテーブル 紬 (B)	天野漆器(株)	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 14 年度(36 回)	吹上 会席膳 紬 五彩	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 15 年度(37 回)	盛器銘々皿セット 6 点 1 組	市中漆器工房	輪島漆器商工業協同組合
平成 15 年度(38 回)	座テーブル「月光」ダークグリーン漆塗乾漆塗	森 康一	香川県漆器工業協同組合
平成 16 年度(39 回)	パーティー重 2 段	大橋呂色店	輪島漆器商工業協同組合
平成 17 年度(40 回)	三つ足盛器	清水 正義	越前漆器協同組合
平成 18 年度(41 回)	八角形 二段重 平台付	加藤漆器店	輪島漆器商工業協同組合
平成 19 年度(42 回)	小箱波シリーズ(櫛目研出し)	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 20 年度(43 回)	銀彩 酒器セット	摂津 広紀	秋田県漆器工業協同組合
平成 21 年度(44 回)	飾り棚「紫苑 20」彩色塗分 春の詩の図	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 22 年度(45 回)	テーブル「麗風」	森 康一	香川県漆器工業協同組合
平成 23 年度(46 回)	KOTON black V, (Y), (U)	我戸 正幸	山中漆器連合協同組合
平成 24 年度(47 回)	テーブル折脚 風紋	森 康一	香川県漆器工業協同組合
平成 25 年度(48 回)	二段重箱	白川 勝義	青森県漆器協同組合連合会
平成 26 年度(49 回)	飾皿(皿立付) 十二支 螺鈿・蒔絵	天野漆器(株)	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 27 年度(50 回)	カップ・コースター付 外木地呂内側銀地	山田 秀樹	越前漆器協同組合
平成 28 年度(51 回)	会席膳 五彩	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 29 年度(52 回)	引き出し（大・小）と小箱	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 30 年度(53 回)	重箱（取り皿付）	秋元 勝彦	青森県漆器協同組合連合会
令和元年度(54 回)	JUBACO	山口 怜示	越前漆器協同組合
令和 2 年度(55 回)	八角盆(彩) 3 点セット	畑 勝日佐	伝統工芸高岡漆器協同組合
令和 3 年度(56 回)	カフェボウル カラータイプ	(有)イシオカ工芸	青森県漆器協同組合連合会
令和 4 年度(57 回)	櫛 六ツ組 信玄弁当 独楽	(有)中出漆器店	山中漆器連合協同組合
令和 5 年度(58 回)	香川漆器 漆下駄「Siccok」	一和堂工芸(株)	香川県漆器工業協同組合

-農林水産大臣賞(12 回から交付)-

年度（回）	品 名	生産者	産地組合
昭和 42 年度(1 回)	－	－	－
昭和 43 年度(2 回)	－	－	－
昭和 44 年度(3 回)	－	－	－
昭和 45 年度(4 回)	－	－	－
昭和 46 年度(5 回)	－	－	－
昭和 47 年度(6 回)	－	－	－
昭和 48 年度(7 回)	－	－	－
昭和 49 年度(8 回)	－	－	－
昭和 50 年度(9 回)	－	－	－
昭和 51 年度(10 回)	－	－	－
昭和 52 年度(11 回)	－	－	－
昭和 53 年度(12 回)	茶椀	若島 孝雄	輪島漆器商工業協同組合
昭和 54 年度(13 回)	開重	白木屋漆器店	会津漆器協同組合連合会
昭和 55 年度(14 回)	卓上膳セット	(株)白木屋漆器店	会津漆器協同組合連合会
昭和 56 年度(15 回)	盛器セット	柴田 利男	青森県漆器協同組合連合会
昭和 57 年度(16 回)	角盆彩キンマ	文新堂漆器工業(株)	香川県漆器工業協同組合
昭和 58 年度(17 回)	丸卓七々子	須々田清彦	青森県漆器協同組合連合会
昭和 59 年度(18 回)	楕円座卓	斉藤 満	青森県漆器協同組合連合会
昭和 60 年度(19 回)	フロアースタンド	(株)森嘉吉商店	香川県漆器工業協同組合
昭和 61 年度(20 回)	末広丸型卓上膳	斉藤 満	青森県漆器協同組合連合会
昭和 62 年度(21 回)	溜八角オードブルセット	若木会 照井克彦	会津漆器協同組合連合会
昭和 63 年度(22 回)	丸箱膳	有馬 功	青森県漆器協同組合連合会
平成元年度(23 回)	引出簞笥紋紗塗	(株)田中屋	青森県漆器協同組合連合会
平成 2 年度(24 回)	御膳七々子塗	白川 明美	青森県漆器協同組合連合会
平成 3 年度(25 回)	大盛鉢	佐竹 康宏	山中漆器連合協同組合
平成 4 年度(26 回)	チェスト扉(抽出)本体黒ハケ目 色漆塗分ケ銀平月蒔	(株)モリシゲ	香川県漆器工業協同組合
平成 5 年度(27 回)	櫛 千筋 薄挽深鉢	(株)正和	山中漆器連合協同組合
平成 6 年度(28 回)	宴膳枱拭漆	佐竹 康宏	山中漆器連合協同組合
平成 7 年度(29 回)	朱溜塗 組皿 櫛	宮本 優	山中漆器連合協同組合
平成 8 年度(30 回)	盛器	清水 正義	越前漆器協同組合
平成 9 年度(31 回)	水鏡 会席膳	松田 真扶	越前漆器協同組合
平成 10 年度(32 回)	ハイカラ(新色)なプレート	宮腰 清次郎	青森県漆器協同組合連合会
平成 11 年度(33 回)	座卓(銀河)	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 12 年度(34 回)	あけぼの塗 三つ引出 左右対	大谷哲夫木工所	紀州漆器協同組合

年度（回）	品 名	生産者	産地組合
平成 13 年度(35 回)	呂色研出 紅溜 内変塗 7 寸皿 10 枚揃	後藤 常夫	鳴子漆器協同組合
平成 14 年度(36 回)	楽楽 椀セット	松田 真扶	越前漆器協同組合
平成 15 年度(37 回)	呂色研出 和菓子皿 7 寸(5 枚 1 組)	後藤 常夫	鳴子漆器協同組合
平成 15 年度(38 回)	栓黒 薄挽組鉢	(株)酢谷	山中漆器連合協同組合
平成 16 年度(39 回)	呂色研 八角皿(3 枚組)	後藤 常夫	鳴子漆器協同組合
平成 17 年度(40 回)	波紋大皿 A・B	遠田漆器店	秋田県漆器工業協同組合
平成 18 年度(41 回)	キャビネット西都 28 黒刷毛目漆塗扉朱刷毛目	(株)森繁	香川県漆器工業協同組合
平成 19 年度(42 回)	乾漆盛器	内島 正雄	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 20 年度(43 回)	十二角 三段重	吉田漆器工房	輪島漆器商工業協同組合
平成 21 年度(44 回)	乾漆輪花 盛器	内島 正雄	伝統工芸高岡漆器協同組合
平成 22 年度(45 回)	菊型オードブルセット	滝 健一	秋田県漆器工業協同組合
平成 23 年度(46 回)	松フチ麻布張り丸テーブル	小橋 敬一	越前漆器協同組合
平成 24 年度(47 回)	帯付小判重	津田 哲司	輪島漆器商工業協同組合
平成 25 年度(48 回)	栗朱塗平卓	小橋 敬一	越前漆器協同組合
平成 26 年度(49 回)	乾漆盛器 “越の海”	前田 利栄	越前漆器協同組合
平成 27 年度(50 回)	大盃 奇跡草蒔絵	山崎 夢舟	山中漆器連合協同組合
平成 28 年度(51 回)	乾漆皿「華麗」	山崎 夢舟	山中漆器連合協同組合
平成 29 年度(52 回)	花塗金彩盤	寿次郎	秋田県漆器工業協同組合
平成 30 年度(53 回)	オードブル容器	岡山至鳳堂	輪島漆器商工業協同組合
令和元年度(54 回)	盛皿グリーン(魚)	渡辺漆器店	香川県漆器工業協同組合
令和 2 年度(55 回)	青海光 菓子鉢	采色塗 なか門	輪島漆器商工業協同組合
令和 3 年度(56 回)	大皿(クローバー)	渡辺漆器店	香川県漆器工業協同組合
令和 4 年度(57 回)	「LINE」菓子器(赤・黒)	須藤 賢一	青森県漆器協同組合連合会
令和 5 年度(58 回)	漆皮 朱塗縁金線檜紋様皿 朱塗縁金線梅型小皿 5 枚組	木曾漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合

歴代受賞一覧(団体賞)

回	年	桂宮賞	内閣総理大臣賞	日本経済新聞社賞	三越賞	特別奨励賞
1	1967	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合		富山県漆器商工業協同組合 会津漆器協同組合連合会 越前漆器協同組合 山中漆器連合協同組合 富山県漆器商工業協同組合 越前漆器協同組合 木曾漆器工業協同組合 香川県漆器工業協同組合 山中漆器連合協同組合 会津漆器協同組合連合会 木曾漆器工業協同組合 越前漆器協同組合
2	1968	東京都漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合		
3	1969	東京都漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合		
4	1970	青森県漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
5	1971	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会		
6	1972	木曾漆器工業協同組合	神奈川県漆器連合会	富山県漆器商工業協同組合		
7	1973	富山県漆器商工業協同組合	富山県漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会		
8	1974	石川県漆器連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	
9	1975	長野県木曾漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合	
10	1976	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	木曾漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合	
11	1977	木曾漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	富山県漆器商工業協同組合 会津漆器協同組合連合会 越前漆器協同組合
12	1978	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合 富山県漆器商工業協同組合 越前漆器協同組合
13	1979	富山県漆器商工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	京都漆器工芸協同組合	木曾漆器工業協同組合 香川県漆器工業協同組合 山中漆器連合協同組合
14	1980	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	富山県漆器商工業協同組合		会津漆器協同組合連合会 木曾漆器工業協同組合 越前漆器協同組合
15	1981	青森県漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合 越前漆器協同組合 山中漆器連合協同組合
16	1982	越前漆器協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会 香川県漆器工業協同組合 山中漆器連合協同組合
17	1983	青森県漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合 山中漆器連合協同組合 越前漆器協同組合
18	1984	木曾漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合 輪島漆器商工業協同組合 香川県漆器工業協同組合
19	1985	伝統工芸高岡漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	会津漆器協同組合連合会 青森県漆器協同組合連合会 木曾漆器工業協同組合
20	1986	伝統工芸高岡漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	会津漆器協同組合連合会 越前漆器協同組合 東京都漆器商工業協同組合
21	1987	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合 越前漆器協同組合 山中漆器連合協同組合
22	1988	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合
23	1989	秋田県漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	香川県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	越前漆器協同組合
24	1990	越前漆器協同組合	青森県漆器協同組合連合会	香川県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合
25	1991	青森県漆器協同組合連合会	越前漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	秋田県漆器工業協同組合
26	1992	青森県漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	越前漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合
27	1993	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合
28	1994	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
29	1995	山中漆器連合協同組合	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合		秋田県漆器工業協同組合
30	1996	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合		青森県漆器協同組合連合会
31	1997	伝統工芸高岡漆器協同組合	木曾漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合		越前漆器協同組合
32	1998	輪島漆器商工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	本歴代入賞一覧は「全国漆器展」に名称が変更になってからの一 覧であり、それ以前の情報については事務局では管理していない 2003年は2月開催から秋(9,10月)開催への切替のため、同年度に2 度の開催 ※桂宮賞の名称については以下の通り ・第21回までは高松宮賞 ・第22回は三笠宮賞 ※第1～2回の高松宮賞・内閣総理大臣賞・日本経済新聞賞の名称 にはについては以下の通り ・高松宮杯 ・内閣総理大臣杯 ・日本経済新聞社盾	
33	1999	香川県漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合	青森県漆器協同組合連合会		
34	2000	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合		
35	2001	伝統工芸高岡漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合		
36	2002	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合		
37	2003	会津漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合		
38	2003	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合	木曾漆器工業協同組合		
39	2004	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	鳴子漆器協同組合		
40	2005	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
41	2006	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
42	2007	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合		
43	2008	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合		
44	2009	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合		
45	2010	秋田県漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
46	2011	越前漆器協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	山中漆器連合協同組合		
47	2012	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
48	2013	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合		
49	2014	—	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合		
50	2015	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
51	2016	山中漆器連合協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合		
52	2017	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合		
53	2018	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	木曾漆器工業協同組合		
54	2019	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
55	2020	輪島漆器商工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合		
56	2021	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合		
57	2022	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	香川県漆器工業協同組合		
58	2023	越前漆器協同組合	青森県漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合		

第 58 回全国漆器展 審査講評

令和 5 年 9 月 25 日制作

制 作 日本漆器協同組合連合会 事務局
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二丁目 15 番 2 号 松島ビル 4F
一般財団法人生活用品振興センター内
TEL 03-3639-8882 FAX 03-3639-8880 E-mail info@shikki.or.jp
URL <https://www.shikki.or.jp/>

本資料を引用・転載する場合は、制作宛にご一報ください。

なお、日本漆器協同組合連合会会員においてはこの限りではありません。